

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 農林水産課	関連部課名	
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	水産業			
魅力ある水産業の育成にむけて、加工・販売などを含む事業の高付加価値化、稚魚の放流などの育てる漁業の振興、旅館や飲食店との連携による特産の漁獲物を使った料理の開発と地域ブランド化、後継者の確保などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●漁業者、水産業関係団体等が一体となって安定した水産業経営が行われています。 ●「獲る」漁業から「育てる」漁業へ、水産資源の育成と保護を推進しています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 安定した経営基盤の充実

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
漁港の適正な整備の促進 漁村活性化総合対策	鮮度維持用製氷機圧縮機及び凝縮機更新 更新 2,623千円	事業実施見送り 0千円	鮮度保持施設 (海水ポンプ機能向上) 1,590千円

2 育てる漁業の推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
環境・生態系保全活動支援事業	交付額 632千円	交付額 930千円 アマモの移植及び播種 干潟の耕うんほか 環境教育活動 (市内小学校2校 計4回実施)	交付額 651千円 アマモの移植及び播種 干潟の耕うんほか 環境教育活動 (市内小学校2校 計4回実施)
抱卵ガザミ放流事業(放流数・委託料)	300尾 380千円	477尾 800千円 (いけす資材購入費含む)	300尾 380千円

3 ブランド化とPRの充実

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
蒲郡メヒカリ地域団体商標登録推進	委託料 250千円	委託料 250千円 周辺地域での広報宣伝活動 H27.5 家族フェス(市内) H27.10 田峯城まつり(設楽町) H27.10 くらふとフェア(市内)	委託料 250千円 周辺地域での広報宣伝活動 H28.5 家族フェス(市内) H28.10 くらふとフェア(市内)

4 後継者の育成支援

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
新規漁業就業者奨励金 (対象者・支給額)	1人 150千円	1人 150千円 漁家世帯以外出身 1名	2人 250千円 漁家世帯出身 1名 1ター・Uター 1名
さかな料理教室開催(親子教室・一般)	年2回 親子 1回 12組 一般 1回 15人	年2回 親子 1回 12組 一般 1回 15人	年2回 親子 1回 12組 一般 1回 12人
新規漁業就業者支援事業	1人	実践研修費補助 家賃補助 1人	実践研修費補助 家賃補助 3人

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
市費投資分漁獲量割合	目標値	0.55t	0.45t	0.51t	-
	実績値	0.44t	0.50t		平成32年度
	目標値				
	実績値				平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
市費投資分漁獲量割合	本市漁獲量(t)／決算額(千円) 前年比較で増を目指す

◆指標の分析

市費投資分漁獲量割合について、水産振興費決算額が対前年度比で23%減となったものの、漁獲量が対前年度比で13%減となったため、0.06tの増となった。漁獲量減の理由は、沖合底びき網漁船1隻が海上火災により未操業となったため。決算額減の理由は、漁村活性化総合対策事業が未執行となったため。
 漁獲量を指標の柱としたのは、付加価値の高い水産物の収量を考えると、売上高を指標とすべきであるが、データ入手の点から漁獲量としたものである。

◆今後の方針

施策の課題 本市の漁業は、漁船数において、昭和63年が245隻あったのに対し、平成26年11月現在が93隻、漁獲売上げにおいて、昭和63年が54億円あったのに対し、平成26年が12.4億円といずれも大幅な減少となっている。漁業者の高齢化、後継者不足等による漁業者の減少、漁獲量の減少及び魚価の低迷による漁業経営の悪化など、厳しい状況が続いている中ではあるが、本市の大きな魅力の一つである「海」に関わる事業は大変重要であり、漁業の振興には、積極的に取り組む必要がある。

今後の施策展開 本市の漁業の持続的発展を目的に、市、水産業者、漁業関連団体等が一体となり、将来、独立・自営を目指す人材を育成する「新規漁業就業者支援事業」は、平成26年10月1日にスタートし、平成28年7月現在で1名が研修継続中である。今年度も新たに2名を支援できる予算を確保しており、受入漁家の体制が整い次第、支援をしていく。
 また、浜の活力を上げるためには、各浜の実態に合わせ、漁家所得を向上させる最適の取組を行っていくことが必要であることから、今年度中に浜の活力再生プランを策定していく。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	施策の課題等で示すように、本市の水産業の現状は大変厳しい。このような状況の中での漁業振興は大変困難であるが、蒲郡の水産業を盛り上げるため、国・県の補助事業を有効活用するなどして、積極的に各事務事業を進めなければならない。

部長評価	施策の進捗状況	C: 目指す将来像実現に向けて計画より進行が遅れている。
	コメント	漁業従事者の高齢化、今後見込まれる船舶の更新などにより、漁船数は今後更に減少していくことが見込まれる状況にある。漁獲高は、一朝一夕に回復させることは困難であり、地道に漁場環境の改善など育てる漁業を推進していく必要がある。また、新規漁業就業者の早期の追加募集が図れるよう関係者間の調整が必要である。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
2-2	農林水産課	293	漁業資金利子補給事業	166	444	0.12	A	オ	1-3	×
2-2	農林水産課	294	水産振興事業	4,035	2,893	0.48	B	オ	1-3	×
2-2	農林水産課	295	水産物地産地消事業	100	963	0.18	A	カ	1-3	×
2-2	農林水産課	296	漁村活性化総合対策事業	0	538	0.08	B	オ	1-3	×
2-2	農林水産課	297	水産多面的機能発揮対策事業	933	789	0.13	B	オ	1-3	○